

回 会 報

161号

新日本美術協会

事務局
横浜市港南区港南台

1-39-5

鈴木忠義方

TEL.045-832-0504

編集委員

小高峯夫

富岡ネム

大石 亨

四方公子

早田美智子

原稿常時募集

次号平成30年5月予定

新年のご挨拶

代表 森屋治三

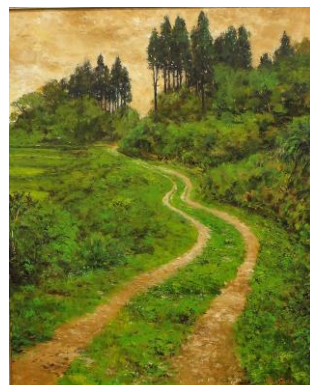
あけましておめでとうございます。会員の皆様にとりまして、本年がご健康で、素晴らしい出会い、感動、創造の多き年でありますようお祈り申し上げます。

さて、昨年の新日美展は、増野実行委員長のご報告(会報第160号)の通り大盛会で終了しました。この中で行われたギャリートーク、工芸ワークショップ、土屋委員による色彩の講演には多くの来場者が参加し作家と来場者が一体となった展覧会となりました。改めて関係各位のご労苦をねぎらいたいと思います。

現在、委員会では更に進化した本展開催に向け、事務局長が中心になってプロジェクトチームを立ち上げ準備を始めております。特に、改善参考事項として一般応募者からのアンケート及び各委員からの反省、提案事項の集計を取り上げての検討では今後実施展への反映改善に期待できると思います。当会における目下のテーマとすれば魅力的な「新日美」に行き着きます。そのための一番の方策として「支部の活性化」を上げたいと思います。支部展、支部勉強会などを通じての支部員間及び地域愛好者との交流は、会への愛着が醸成されていくと思います。また、支部に入会できない方でもお住いの地元愛好家などと積極的に交流されることを願うものです。

これらのことがとりもなおさず魅力的なことに繋がっていくものと思っています。いま、社会では「ニヤSNS」という言葉が氾濫し価値観が多様化してきていると感じます。しかし芸術の役割は、楽しさや感動、精神的な安らぎや生きる喜びをもたらす、豊かな人間性をはぐくみ、社会全体を活性化すると考えます。社会が変わろうとも新日美に集い制作に励み発表することが芸術の精神にかなうものと思っております。

最後に、会員皆様のご健康、ご活躍を心より祈念いたしますとともに新日美への支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。



夕映えの明かりの中を一本の道が通っている。周囲には緑の野草や木立の緑が

参議院議長賞

早田美智子
道・その先へ

あふれ左手には棚田の一部も見えている。轍の跡をくつきりさせながら曲がりくねりながらその先へと消えていくこの野径は、画家の歩んできた道程であり、かつこれからの歩みを思う気持ちがかめられているようだ。その思いが緑のこまやかなニヤンスある彩りが、何気ない景を豊かなものにした。

衆議院議長賞

石川重利
煤竹造喰籠



喰籠(じきろう)は懐石用具の一つで、蓋のある竹製の容器。暖かい饅頭などを盛るのに用いられるという。だ円形のシンプルなフォルムに、蓋の中央から四方への広がり、胴の縦の組み合わせ、底の輪つわの曲線、支柱の円、加えて竹くぎのリズム感など、見どころいっぱい職人技が満載。

煤竹の渋い表情も器形と相俟つてワビサビ感も心に沁み入ってくる。

新日美41回展 官庁へ報告した作品
作品講評 中野 中先生(美術評論家)

文部科学大臣賞

小高峯夫 それぞれの刻



波打ち際ですれ違う男と女。女は目つきも鋭くこちらを向かない。男は背中見せ顔をそらして海へ向かう、映画のシーンのような場面。サーフィンや海に遊ぶ人々、足元では海鳥が波と戯れ空には気球が浮かぶ。世は事もなしの何時もの風景だが、この二人のこの一瞬の心の交錯、波を透過させたことで、一瞬が異次元の刻となった。心理的なドラマが波のように揺さぶりをかけてくる。

東京都知事賞

小柳元枝 古都好日



中世パラチナーテの首都で、長い歴史を持つドイツの州都。石造りのアーチ型のゲートの先に旧市街の街並が奥へ広がって、好天气に誘われて人々の姿もある。正面は教会だろうか、両側の建物群も無骨でガッチリとしている。そんな重厚な景を力強く、しっかりと描ききっている。

降り注ぐ陽光がつける明暗は歴世のこの街の光世をも語っているようだ。